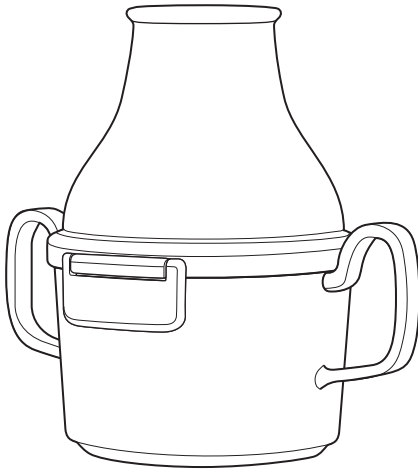


お風呂用水素生成器 AH-HF1601

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	P.2 ~ P.3
ご使用になる前に	P.3
各部の名称とはたらき	P.4
正しい使いかた	P.5 ~ P.6
お手入れと保存	P.7
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

品 名	AQUA-H お風呂用水素生成器
型 名	AH-HF1601
マグネシウムコア	マグネシウム純度：約99.9% サイズ：90×39×82mm×3個
主な材質	ABS、PC、シリコン、PP
外形寸法	本体 約 幅204× 奥行152× 高さ191mm
質 量	約920g (マグネシウムコア3個含む)
付 属 品	マグネシウムコア×3、クエン酸ボトル×1、取扱説明書・保証書×1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意





- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)



図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

	禁止	本商品で水素を生成させるときに、タバコの火や線香などを近づけない。火気厳禁。 本商品の水素濃度では安全ですが、万が一のために火気は近づけないようにしてください。	
	禁止	子供に使用させない。幼児の手の届くところで使用しない。 けがや故障の原因になります。 子供がマグネシウムコアを取り出して遊んだりしないように、十分ご注意ください。	
		マグネシウムコアのみを浴槽に入れない。 変形や破損、事故の原因になります。	
		マグネシウムコアを削って細かい粉に絶対にしない。 マグネシウムコアの細かい粉は酸化しやすく自然発火し爆発的に燃焼して非常に危険です。	
		お子様が手の届くところにマグネシウムコアを絶対に保存しない。 いたずらして上記の危険があります。	
		業務用として使用しない。 本商品は一般家庭用として設計・製造されています。	
		 禁止	本商品を入れて水素生成した水を飲んだりしない。 水素を発生させた時に使用したお湯や水は飲用には適していません。 24時間循環風呂では使用しない。 24時間循環風呂は殺菌のため塩素系洗浄剤を常時循環させており、クエン酸と反応して塩素ガスが発生する危険があります。 熱湯での使用はしない。 通常、入浴に適した温度で使用してください。
		 指示	金属アレルギーのあるかたは十分注意して使用し、アレルギー反応があったときは、すぐに使用を中止する。 金属アレルギーをお持ちの方は(特にマグネシウム)、まれにアレルギー反応を起こすことがあります。 塩素系洗浄剤で浴槽や風呂釜を洗浄した場合は、水でよく洗い流してから本商品を使用する。 クエン酸が反応して塩素ガスが発生する危険があります。
			入浴剤と併用しない。 マグネシウムコアの表面が著しく変形する場合があります。

注意

 禁止	直射日光が当たったり、高温になる場所に本商品やクエン酸ボトルを置いたりしない。 変色・破損の原因になります。	 禁止	浴槽内の本体の上に座ったり、踏んだり、体重をのせたりしない。 破損や変形、事故の原因になります。
	高温になる場所や器具（オープンなど）の近く、火気の近くで使用・保存しない。 熱による変形・変色・破損の原因になります。		お手入れの際は漂白剤・シンナー・ベンジン・アルコールなどを使わない。 変色・変形、事故の原因になります。
	本商品を入れて水素生成した水を魚などの飼育に使用しない。 水素を生成させた時に使用したお湯や水は環境が変わることにより、魚などに悪影響を与える恐れがあります。		クエン酸を指定された量以上、大量に使用したりしない。 事故の原因、浴槽を傷める原因になります。
	浴槽に投げ入れたり、落としたりしない。 破損・変形、事故の原因になります。		

ご使用になる前に

使用できない風呂

- ・24時間循環風呂では使用しないでください。
 24時間循環風呂は殺菌のため塩素系洗浄剤を常時循環させており、クエン酸と反応して塩素ガスが発生する危険があります。

マグネシウムコアについて

- 耐用年数の目安**
- ・約5年（専用クエン酸を約6gの適正量で1日1回使用した場合）
 - ・マグネシウムコアは消耗品です。使用のたびに小さくなります。
 - ・クエン酸の使用量などにより、さらに消耗具合は変化します。
- 水素の生成原理**
- ・マグネシウムとクエン酸が、お湯（水）の中で化学反応して水素が生成されます。

- 被膜**
- ・未使用期間が長くなったり、水に漬けている時間が長くなると、被膜ができて、水素の生成に影響が出ますので、ナイロンたわしで表面をみがき、水洗いをしてお手入れをしてください。（6ページ参照）

注意

入浴剤と併用しない。
 マグネシウムコアの表面が著しく変形する場合があります。

水酸化マグネシウムについて

ケースの底に黒い微粉末が生成する場合があります。これは水とマグネシウムが反応して生成した水酸化マグネシウムです。
 ※水酸化マグネシウムは目を刺激することがあります。
 水で洗い流してからご使用ください。

ニクエン酸三マグネシウムについて

クエン酸とマグネシウムが化学反応して生成するニクエン酸三マグネシウムは、目を刺激することがあるので、水素を生成したお湯（水）で目を洗ったり、目を開けて顔をつけたりしないでください。

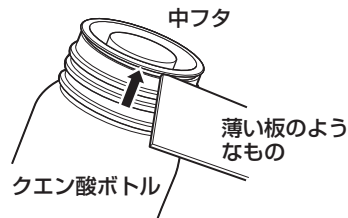
警告

- ・マグネシウムコアを削って細かい粉に絶対しない。
 マグネシウムの細かい粉は酸化しやすく自然発火し爆発的に燃焼して非常に危険です。
- ・お子様が手の届くところにマグネシウムコアを絶対に保存しない。
 いたずらして上記の危険があります。

クエン酸について

- ・専用クエン酸は湿気に弱く、固まったり溶けたりすることがありますので、開封後・ご使用後はフタをしっかりとめて、乾燥した涼しいところへ保存してください。
- ・子供の手の届くところに保存しないでください。
- ・毎回使用する量は適正量（ボトル3ふり約6g）を守って使用してください。
 ※大量に使用しても生成する水素には限界があり、逆に早くマグネシウムコアを消耗し耐用年数が短くなります。
- ・専用クエン酸がなくなりましたら、市販の食品添加物規格に適合した無水クエン酸をご購入になり、空になったクエン酸ボトルの中フタをはずして詰め替えてください。

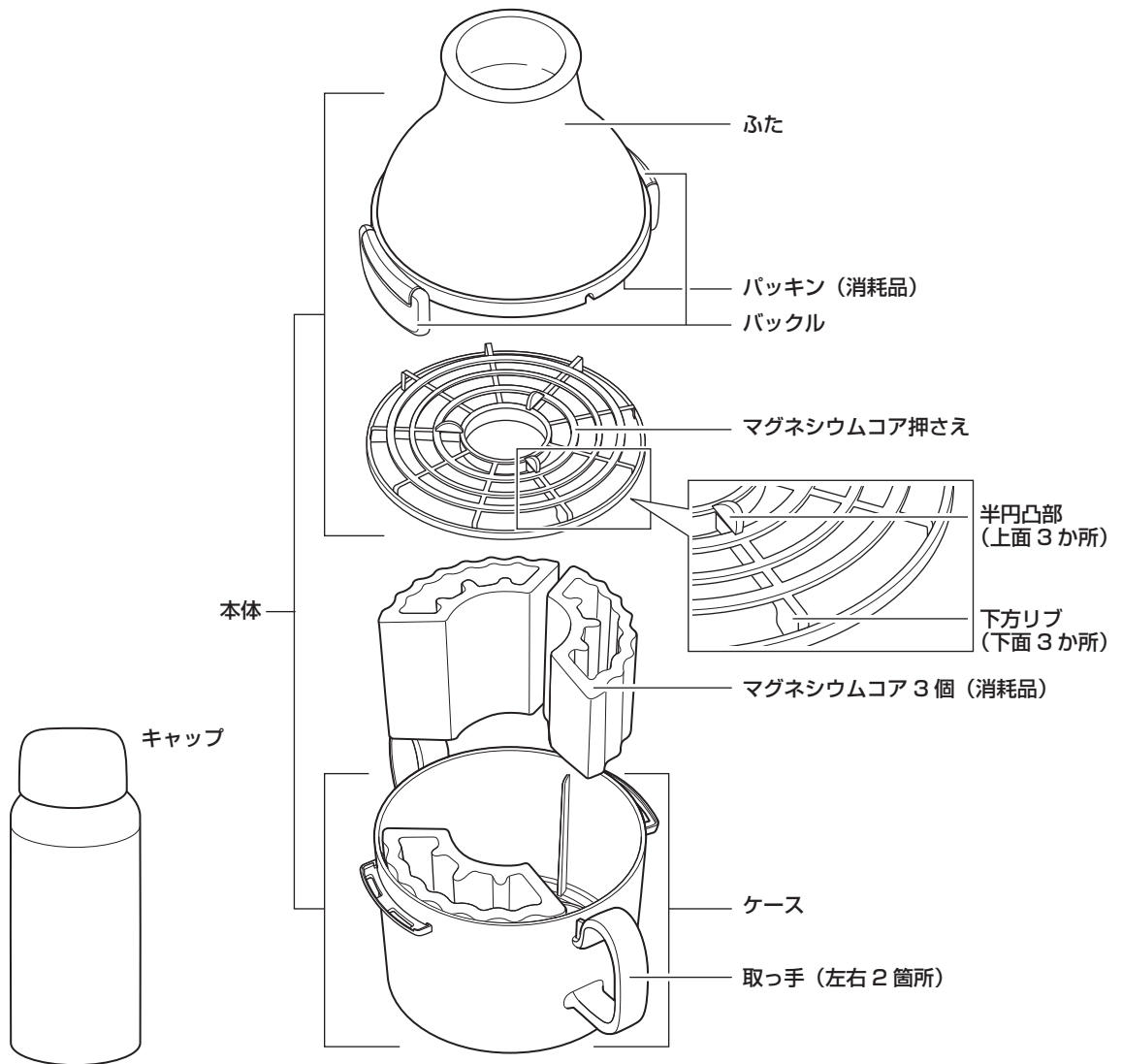
中フタのはずしかた
 固めにはめておりますので、薄い板のようなもので中フタの縁を少しずつ押し上げながらはずしてください。



クエン酸ご使用上の注意

- ・お子様が手の届くところに保存しないでください。
- ・万一目に入った場合や皮膚についた場合は、こすらずに水でよく洗い流し、医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、口をよくすすぎ、異常があれば直ちに医師の診断を受けてください。
- ・お風呂用酸素生成器の水素生成用途以外に使わないでください。

各部の名称とはたらき



クエン酸ボトル

ポットにひとふりで約2g入れる
ことができます。

※空になったら再利用するので破
棄しないでください(3ページ
参照)。

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個	パッキン (消耗品).....	1 個
ケース.....	1 個	マグネシウムコア (消耗品).....	3 個
ふた.....	1 個	クエン酸ボトル	
マグネシウムコア押さえ.....	1 個	専用クエン酸 約260g 入り (消耗品).....	1 個
		取扱説明書 (保証書含む).....	1 個

正しい使いかた

準備

《準備中にお湯が垂れてもよいように浴室で行なう》

1. ケースからふたをはずして、マグネシウムコアをケースに取り付ける

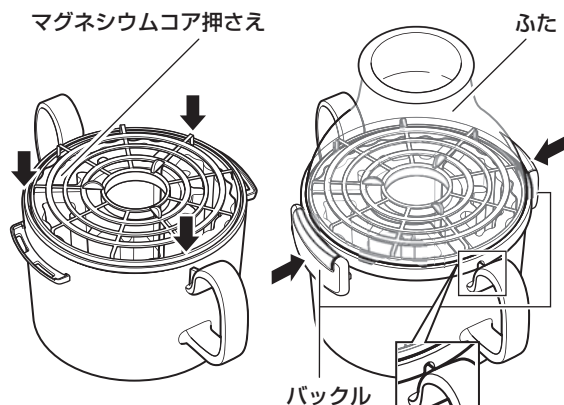
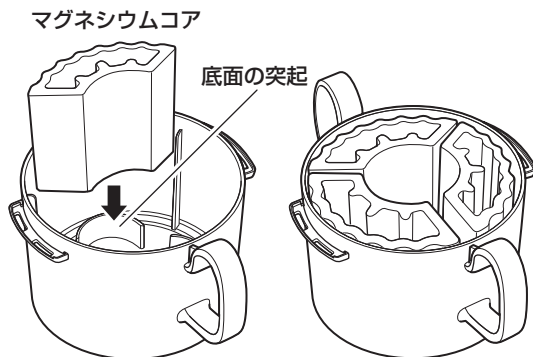
底面の突起に合わせてマグネシウムコアを取り付けます。

※初めての使用の時は、マグネシウムコアから包装をはずしてください。

2. マグネシウムコア押さえを取り付け、ふたを取り付ける

「マグネシウムコア押さえ」は、上面に半円凸部がある部分の下面に下方リブがあり、それがマグネシウムコア 3 個の隙間にはまるように取り付けてください。そのうえで「ふた」を取り付けます。

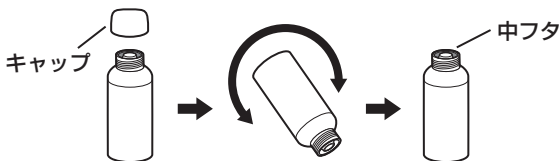
ふたに付いている 2 つの「バックル」をケースに対してしっかり取り付けます。



ふたの左右の凹部と取っ手の上の凸部を組み合わせる

クエン酸ボトルのしくみ。

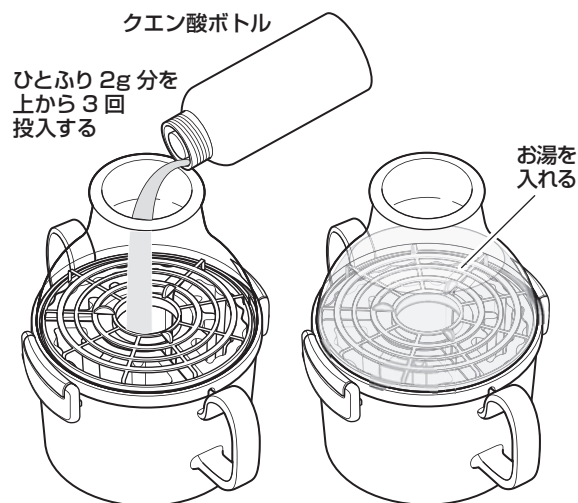
キャップをはずしてボトルの口を 1 回下に向けてと中フタの上にとまっているクエン酸約 2g が出ます。ボトルを立てると次の分の約 2g が中フタの上にとまります。



3. ふたの上部からクエン酸を約 6 g 入れ、本体にお湯（水）をあふれない程度入れる

付属のクエン酸ボトルは一度さかさまにして戻すとボトルの口の部分に約 2g たまりますので、それを中フタの上部から本体に 3 回入れ、そのあと、お湯（水）をあふれない程度入れてください。

※クエン酸を大量に入れても生成する水素には限界があり、逆に早くマグネシウムコアを消耗して耐用年数が短くなります。



移動させるときは必ず 2 か所の取っ手を両手で持つ。
ふたの部分などを持つと落下の原因になります。

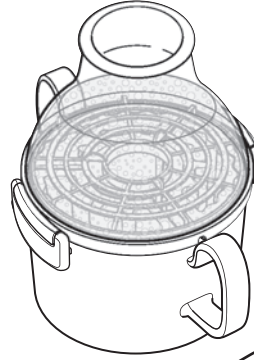


お湯（水）を入れたまま浴室の外へ持ち出さない。
ケース本体とふた部分を接合しているバックルは、浴室でお湯を入れることを前提として取り付けられているため、完全な防水にはなっていません。

正しい使いかた（つづき）

4. 1～2分後に水素が生成し、2～3分そのままにする

しばらくすると水素が生成しはじめます。



水素が生成し始めたら1～2分そのままにする

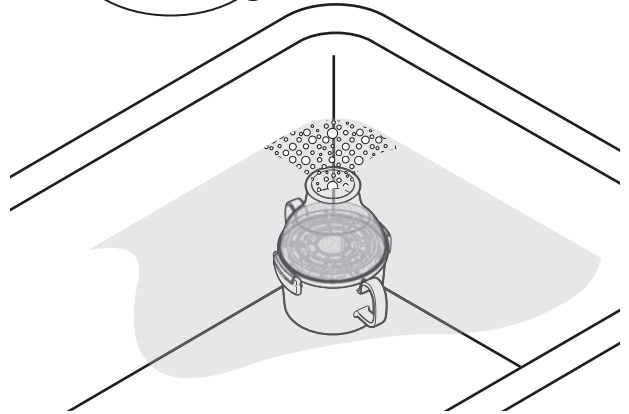
5. 浴槽のお湯に入れる

浴槽の中でも水素が生成し続けます。ふたの開口部が上になるように浴槽に入れてください。

※この段階で入浴してください。

6. 約30～60分を目安に浴槽から取り出す

さらに長時間使用するには浴槽から取り出しさかさまにして湯を出し、手順3から繰り返し再度クエン酸を入れて再度水素を生成させてください。



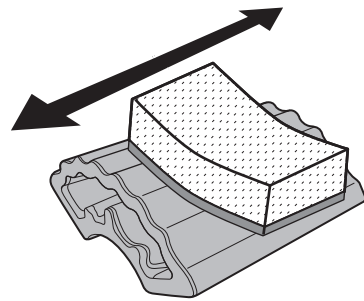
7. 使用後は自然乾燥させる

さかさまにして湯を出してからふたをはずし、マグネシウムコアを取り出して、自然乾燥させます。

8. マグネシウムコアの表面が黒くなったときはお手入れをする

しばらく使用すると、マグネシウムコアは表面に水酸化マグネシウムが付着して、黒くなっていきます。

- 黒くなったままでは、反応が悪くなり、水素の生成が少なくなります。
- クエン酸をマグネシウムコアにふりかけてナイロンたわしに水を付けてこするときれいになります。
- 最後に水洗いしてください。



⚠️ 注意

- 金属たわしは使用しない。マグネシウムまで削り取られてしまいます。
- マグネシウムコアの角に指や手が当たらないように注意する。けがの原因になります。

お手入れと保存

禁止事項

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコールなどは絶対に使わないでください。破損の原因になります。

日常のお手入れ

- 通常、マグネシウムコアは洗剤を使用せず、流水のみでよくすすぎ洗いをします。
- 黒い変色に汚れが付着しているときは、ナイロンたわしを使用して表面をきれいにしてください。(6 ページ参照)

本体のお手入れ

- 汚れがひどいときは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)
- 十分に乾燥させてください。
- ふたにあるパッキンはずしてお手入れできます。

パッキンのはずしかた

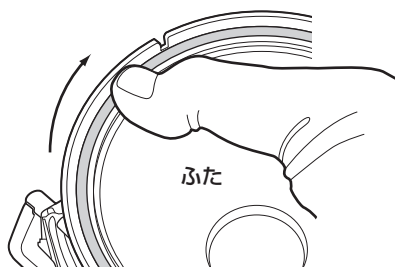
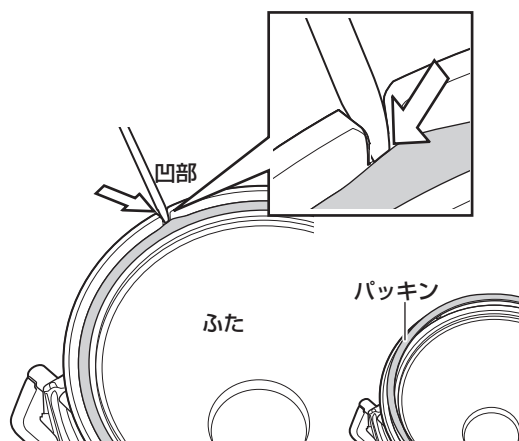
- ふたをさかさまにして、ふたの凹部につまようじを差し込みパッキンを浮かせてはずしてください。

パッキンの取り付けかた

- さかさまにしたふたの上のせ、指でパッキンの全周をすべらせるように押し込んで取り付けてください。

クエン酸の補充

- 付属のクエン酸ボトル内のクエン酸がなくなりましたら、一般に販売されている食用のクエン酸を購入して使用してください(3 ページ参照)。



注意

- お手入れ後は必ずパッキンを取り付ける。
- パッキンを取り付けたあと、「ねじれ」や「かたより」がないか確認する。
水漏れの原因になります。

保存のしかた

- 乾燥した涼しいところに保存してください。
- 次回の使用に支障のないように清掃し、湿気の少ないところに保存してください。
- 長期間使用されないときは、付着したごみやホコリなど（カビなどが発生する原因になります）を取り除き、十分に乾燥させてから、ビニール袋などに入れて、ホコリがつかないようにしてください。